

県連情報

群馬県生活協同組合連合会
前橋市大手町 3-19-3
TEL 027 - 234 - 2376
7月号 (No85)
2016年7月7日発行

「県連情報」はホームページでもご覧いただけます
<http://gunma.kenren-coop.jp/>
Eメール: mail@gunma.kenren-coop.jp

群馬県生協連第57回通常総会を開催 6月20日(月) 2016年度方針と新役員体制を確認しました

群馬県生協連の第57回通常総会が、6月20日(月)、群馬県勤労福祉センターで開催されました。代議員総数54名が出席し(本人出席39名、代理人出席15名)で以下の議案の審議を行ない、全議案を可決し成功裏に終了しました。

- 第1号議案「2015年度事業報告及び決算関係書類承認の件」
- 第2号議案「2016年度事業計画及び予算決定の件」
- 第3号議案「役員選任の件」
- 第4号議案「役員報酬総額承認の件」
- 第5号議案「議案決議効力発生の件」

祝辞をいただいた
JAぐんま
中央会大澤会長



あいさつする
中嶋会長理事



県連第57回通常総会の様子

総会には来賓として、群馬県生活文化スポーツ部消費生活課の星野真弓課長、日本生協連中央地連の木戸玲子事務局長、群馬県農業協同組合中央会の大澤憲一会長、中央労働金庫生協部の富岡道夫部長、中央労働金庫群馬県本部の大野繁雄副本部長、群馬県くらしの会連絡協議会の木島勝恵会長、一般社団法人群馬県労働者福祉協議会の新島徳之専務理事にご出席いただき、代表して星野

真弓消費生活課長、木戸玲子中央地連事務局長、大澤憲一JAぐんま中央会会長から祝辞を頂戴しました。

総会では役員の改選が行われ、直後に開催された第1回理事会の互選の結果、以下の役員体制が確認されました。会長理事として3期6年務めた中嶋源治氏が今総会をもって退任し、新会長理事に前専務理事八田直樹氏、新専務理事に斎藤剛氏が選出され、中嶋前会長理事を顧問とすることが確認されました。

《理事》

八田直樹	代表理事	会長理事 (県生協連) 【昇任】	砂賀千里	理事	(コープぐんま) 【新任】
原田富夫	副会長理事	(利根保健生協)	丸山一世	理事	(生活クラブ生協)
吉田 登	副会長理事	(全労済群馬県本部) 【新任】	反町幸代	理事	(パルシステム群馬)
梅澤義夫	副会長理事	(コープぐんま)	海野英頭	理事	(群馬大生協)
斎藤 剛	代表理事	専務理事 (県生協連) 【新任】	佐藤智之	理事	(高崎経済大生協)
小澤 厚	常務理事	(北毛保健生協)	《監事》		
高橋 勝	常務理事	(群馬県庁生協)	小林淳一	監事	(利根保健生協) 【新任】
中嶋義幸	常務理事	(パルシステム群馬)	宮沢健二	監事	(全労済群馬県本部)
松本勉枝	理事	(女性協・県生協連)	野村由利子	監事	(コープぐんま) 【新任】
新井浩之	理事	(群馬中央医療生協)	《顧問》		
関沼光好	理事	(はるな生協)	中嶋源治	(前会長理事)	
塩谷正明	理事	(群馬県学校生協) 【新任】			

県連女性協が第23回定期総会を開催

6月16日(木)

学習や交流の機会をひろげ、共同参画の「気づき」「学び」の場づくりを確認

6月16日(木)、群馬県生協連女性協議会第23回定期総会が前橋市の群馬産業技術センターで開催されました。会員生協から代議員・オブザーバーとして組合員、役職員など81名が参加しました。

議長に利根保健生協の代議員の河合京子さんが選出され、最初に中嶋源治県連会長と松本勉枝女性協会会長が主催者を代表して挨拶を行いました。



第23回定期総会のようす

続いて、来賓の群馬県生活文化スポーツ部消費生活課山崎隆之企画指導係長、群馬県ぐんま男女共同参画センター戸塚洋子所長から祝辞をいただきました。他に来賓として日本生協連中央地連事務局遠藤陽子様、JAぐんま女性組織協議会中澤幸子副会長にもお見えいただきました。



県消費生活課山崎隆之係長(左)とぐんま男女共同参画センター戸塚洋子所長(右)から祝辞をいただきました。

提案のあった第4号までの全議案はいずれも満場一致で承認されました。今回は役員の変更が行われ、秋山ユミ子副会長、下山淳子委員、西原友美委員、狩野清美委員、藤倉真莉子委員が退任し、新たに藤原京子さんが副会長に選ばれたほか、以下の役員体制で今年度以降の活動を進めることが確認されました。



会長	松本 勉枝 (県連理事、コープぐんま監事)
副会長	藤原 京子 (利根保健生協支部委員)
運営委員	女屋美由紀 (コープぐんま理事)
〃	木村 香織 (生活クラブ生協理事)
〃	柳井由香里 (パルシステム群馬理事)
〃	猪俣 友子 (北毛保健生協理事)
〃	甫仮 文子 (群馬中央医療生協理事)
〃	吉田寿美子 (はるな生協理事)

恒例のアトラクションでは、県内で活動する女性アンサンブル『aile (エル)』の皆さんによるハーモニーを楽しみました。クラシック、ポピュラー、童謡から親しみのある曲を選曲して演奏していただき、「懐かしい歌などたくさん聴けて感動しました」「澄んだ声にとても癒されました」などの感想が参加者から寄せられました。

当日会場では「熊本地震災害への緊急支援募金」が呼びかけられ、総会終了までに25,054円が寄せられました。

群馬県消団連が2016年度総会を開催

5月24日(火)

12団体68名が参加し、年度方針を確認しました

群馬県消費者団体連絡会(中嶋源治会長)の2016年度総会が5月24日(火)に12団体68名の参加により群馬県勤労福祉センター(前橋市)で開催されました。

小坂橋謙三事務局次長が司会として開会を宣言し、中嶋会長のあいさつに続き、群馬県生活文化スポーツ部消費生活課長星野真弓様からご祝辞をいただきました。議長にコープぐんまの針谷勉さんを選出し、八田直樹事務局長から、2015年度事業報告、収支決算報告、2016年度事業計画、収支予算、宮田よし子副会長から2016年度役員を提案し、滝澤佳津子監事



星野県消費生活課長



群馬県消団連2016年度総会の様子

から監査報告を行い、全議案が全会一致で承認されました。2016年度の役員体制は、会長に八田直樹氏(群馬県生活協同組合連合会)、副会長に坂本棟男氏(食とみどり、水を守る群馬県民会議)、飯塚佐和子氏(群馬県退職女性教職員の会)、宮田よし子氏(前橋市消費者団体

連絡会)、監事に木暮あけみ氏(群馬県民主医療機関連合会)、事務局長に針谷勉氏(生活協同組合コープぐんま)を確認しました。

今総会で会長を退任された中嶋氏からは、「多くの方と一緒に会長を務めることができた。新しい体制でも引き続きがんばってほしい。適格消費者団体認定のため引き続きひまわりの会の理事を務める。協力してほしい」とあいさつがありました。新しい会長には、群馬県生協連八田直樹氏が選出されました。

記念講演は、宮沢健二事務局長の司会により、前川浩三氏(群馬県環境森林部廃棄物・リサイクル課企画指導係長)から「第二次群馬県循環型社会づくり推進計画について」をテーマにご講演をいただき、参加者の質問に答えていただきました。



前川企画指導係長

ぐんま食の安全・安心県民ネットワークが総会を開催 6月28日(火)

6月28日(火)、ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク第10回総会が群馬県庁昭和庁舎において開催されました。総会には、県民ネットワークの役員など11名が参加し、群馬県から健康福祉部食品・生活衛生課の萩原美紀食品安全推進室長をはじめ3名にご出席いただきました。

はじめに県民ネットワークを代表して中嶋源治会長が「イギリスのEU脱退の影響や参院選挙での国民の審判に注視していく必要がある、昨年県民ネットワークとして取り組んだ企画は抽選でないと参加できないなど消費者の関心が高く好評だった」と挨拶し、来賓として出席した萩原美紀食品安全推進室長は、「親子セミナー参加者から『食品表示に関心が持てた』『(スーパーでの取り組みを知り)今まで以上に信頼できることがわかった』と好評だった、新しい食品安全基本計画の4年間が始まる、県民ネットワークと協力してやっていきたい」と挨拶を結びました。

次いで八田事務局長から、平成27年度事業報告、収支決算報告、平成28年度事業計画案、収支予算案、平成28年度役員案の提案があり、田村監事が監査報告を行ったあと、審議が行われ、参加した幹事から、「若い人が参加できるような企画を考えて欲しい」「10周年のノベルティの案や活用方法は？」などの意見、質問がよせられました。



ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク総会の様子

審議ののち、全議案が承認されました。28年度の役員には、中嶋源治会長(群馬県生協連)、小林宏安副会長(株式会社とりせん)、松村久子副会長(農村生活アドバイザー)、八田直樹事務局長(群馬県生協連)、田村新衛監事(JA群馬中央会)をはじめ14名の役員が選任されました。



萩原食品安全推進室長

消費者ネットワーク群馬が第7回総会を開催 6月30日(木)



消費者ネットワーク群馬総会のようす

消費者ネットワーク群馬（中嶋源治会長、本部：前橋）は6月30日（木）、群馬県庁の昭利庁舎で第7回総会を開催し、平成28年度事業計画などを確認しました。

中嶋源治会長による主催者挨拶のあと、来賓として紹介された群馬県生活文化スポーツ部消費生活課星野真弓課長から祝辞が述べられました。

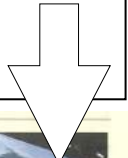
議事審議では、平成27年度事業・収支報告、平成28年度事業・収支予算などの議案が提案通り承認

されました。あわせて、会長に中嶋源治氏（群馬県生協連顧問）、副会長に天田昭夫氏（弁護士：消費者行政充実ぐんま会議）、事務局長に八田直樹氏（群馬県生協連会長理事）など平成28年度役員体制も承認されました。



緊急報告！ 熊本地震被災地支援レポート

群馬中央医療生協
2016年6月1日発行
『くらしと健康』から



被災者への身体的精神的ケアが必要！

私はくわみず病院を拠点にし、益城町への地域訪問や避難所訪問を行いました。益城町では被災し倒壊している家が特によく、道路には亀裂が入っている所も見受けられました。地域訪問時には雨にも関わらずカッパを着て自宅の瓦礫などを片付けている方々を見かけました。家に戻られている方々からは「空き巣が心配」「家に残してきた犬が心配だから戻ってきた」という声が聞かれました。避難所には100人以上の方が避難されていました。訪問した場所は小学校の体育館で、訪問時は平日の昼間ということもあり、子供や高齢の方が多い印象でした。高齢の方は「夜はなかなか周りが気になって眠れないから、人が少ない昼間に寝ることが多い」と話されていました。また、「トイレやお風呂に行きたい時に行けないことが辛い」との意見が多く聞かれました。益城町周辺では断水していて、ガスも使用できない状態でした。今後は避難が長期化する中で避難者の身体的精神的なケアが必要になってくると思われます。



前橋協立病院 理学療法士 須永 俊輝

被災地支援現場レポート
会生協の機関紙に掲載された熊本地震被災地支援の報告記事を
紹介いたします

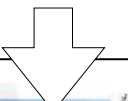
自ら被災という過酷な中で地域医療を支える職員！

私は熊本市にあるくわみず病院に支援に入りました。全国の支援としては第5陣目となり、60名以上の方が集まっています。震災から2週間が経過し、病院周辺は比較的被害が少なく、ライフラインも復旧し始めたため、物資の搬入については落ち着いてきています。しかし、職員の多くが被災し車内や避難所から通勤している職員も少なくなく、車内でお湯が沸かせる電気ケトルなどが物資として求められていました。そんな過酷な状況の中、地域医療を支えています。2日目に病院周辺地域への全戸訪問行動に参加しました。お話を伺うと「自宅は無事だったが、地震が怖くて夜は避難所に行く。」「職場が震災で倒壊してしまって仕事がなく、これからが不安…」など多くの方が地震に対する恐怖や将来の不安を感じていました。また、避難所へ訪問に行った支援者の方からは「衛生面での悪化が進んでいてインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が広がってきている。」などの課題が報告されました。二度の震度7の経験や1000回を超える余震など精神面でのストレスを感じている方が多くいると思われる。そうした方の心に寄り添える支援の継続が重要だと感じました。



前橋協立病院 事務 青柳 達也

はるな生協
2016年6月10日
発行『緑十字』から



益城町 家屋の倒壊

5月18日、24日まで、熊本県のくわみず病院の支援に行っていました。病院の職員も自分自身が被災している中、仕事もこなさなくてはならず、中には子連れで出勤されている方もいました。また、現地の生活の様子もテレビなどで伝えられるものとは違い、全国から集めた支援物資が避難所の不足に苦しんでいる状況も聞かれました。私たちが過去の震災の経験を教訓にして、非常時のマニュアル作成など、いざというときに備える必要性を感じました。

菊陽病院対策本部

熊本地震被災地支援報告

利根保健生協
二〇一六年八月 三日発行
利根の保健』から

熊本地震支援 医師・看護師ら派遣

2度の大きな地震に襲われた熊本県。全日本医師会からの要請で、利根中央病院の職員も総合診療科の鈴木論医師を始め9人が支援に入りました。熊本市にある「くわみず病院」に派遣された看護師は昼から夜中まで救急外来の対応、事務等は患者さんの搬送や転倒したカルテ倉庫の整理作業等を行っていました。

支援参加者からは「住民や被災しながらも医療に携わる病院職員を少しでも支えられればと強く思った。今後も現地支援だけではなく、息の長い支援を続けていければ」と感想が寄せられています。

●利根保健生協として
(5)現在
人的支援・病院医師3人
看護師3人、事務等3人
物資支援
水(2L×6本)90箱
500ml×24本 8箱
義援金・96,847円
引き続き、6月末まで生協本部または各事業所で支援募金を受付中です。

(采葉課・管理栄養士 湯本 祐子)